



おいしい果実を届けよう！ ラ・フランスだより



VOL. 6 輪紋病果をしっかり選別 !!

1. 輪紋病発生状況調査(園芸試験場)の結果

- 昨年、一昨年は輪紋病の発生が少ない年でしたが、今年は平年並に発生が見られています。
- 園芸試験場園芸環境部の調査では、慣行防除(有機銅剤体系)で4.6%(前年2.8%)の発病果率となっており、6月下旬～7月中旬の降雨による感染と推察しています。
- さくらんぼの収穫で忙しく、防除間隔があいてしまった方は要注意です。



【輪紋病の初期病斑】

2. 病害果の選別を徹底しましょう

- 予冷庫から出庫後、可食期になるまで期間が例年より1～2日程度長くかかっています。
- 輪紋病の病斑が確認しやすくなる時期も遅くなっています。いつもの年より1～2日程度長めに産地追熟を行い病害果の選別を徹底してください。

※「ラ・フランスだより」は山形県ホームページ
「**山形のラ・フランス情報!**」でもご覧になれます。
<http://www.pref.yamagata.jp/la-france/>



山形県「ラ・フランス」振興協議会

【作成】山形県農林水産部農業技術環境課・園芸農業推進課(TEL023-630-2466)